

令和4年7月21日

## DX 戦略

山口県山口市大内問田五丁目4番7号  
西京の森どうぶつ病院株式会社  
代表取締役 脇本 雄樹

### 1. 当社を取り巻く環境

当社は動物病院として主に地域のペットに対して動物医療を提供している。今年で創業から4期目を迎える。より良質な動物医療を提供するために創業以来積極的に最新の医療設備の導入を進めてきた。しかしながら、昨今の動物医療を取り巻くデジタル化の流れや労働人口の減少に伴いサービス提供の生産性向上や省力化を図るためのデジタル化の必要に迫られている。

### 2. 経営理念

当社は「どこよりも楽しい動物病院」を経営理念とし、地域の動物医療を支える事業者として、常に患者である動物や飼い主様のニーズに応えられるサービスを提供してまいりました。

この経営理念と使命を実現するために「動物医療×市場ニーズ×デジタル技術」の3つを組み合わせ、これからの厳しいビジネス環境下において持続的な競争優位性の獲得を目指し、新分野・新領域の開拓にも挑戦し、社会の発展に貢献したいと考えております。

特にデジタル技術の活用において、当社はDX推進に取り組んでいます。クラウド環境を活用し情報・データのデジタル化を進めつつ、そこにデジタルレントゲン装置・タブレット端末を組み合わせることで単なる業務効率化にとどまらず、診療時間の短縮や、遠隔での入院動物やペットホテル監視による働き方改革の実現など、ビジネスモデルの変革を推し進めています。

### 3. デジタル活用戦略

当社では、限られたリソースを効率よくコア事業に集中するため、デジタル技術を活用した環境づくりを推進します。

#### ① 診療のデジタルシフト

動物医療では、レントゲン撮影等は従来フィルムに映写して飼い主様に症状を説明する時に使用していましたが、このようなビジネスモデルでは労働生産性の向上に限界があります。そこで、当社では動物のレントゲン撮影をデジタル映写できる機械を導入することで、

撮影してすぐにモニターで飼い主様にお見せできる仕組みを構築し、生産性の向上を図ります。

#### ②電子カルテでの診療管理

将来的には、現在紙ベースで管理している動物のカルテを電子化し、カルテの管理コストの低減を進めます。アナログのカルテでは、対象患者のカルテの検索やカルテ保管庫への保管作業が必要であり、電子カルテの導入により事務スタッフの生産性の向上が見込めます。

#### ③タブレット端末の整備でデジタル活用を後押し

カルテの電子化に伴い、従業員へのタブレット端末配布も推進していきます。この取り組みにより、患者様の疾患や治療履歴等をすぐに確認できる体制を構築し、情報共有・利用の円滑化を推進します。

#### ④ペーパーレス化で森林資源の保全

電子カルテを導入することで、従来紙ベースで管理していたカルテが電子的に管理できるため、森林資源の保全にも寄与すると考えております。この取り組みは昨今世界で進められている SDGs のトレンドにも合致していると認識しています。

#### ⑤WEBでの打ち合わせによるコスト削減

当社の事業は基本的に対面でのサービス提供となるため、資材の納入業者等とも対面での打ち合わせがメインとなっています。しかし、新型コロナウイルスの感染リスクも高く、当社と業者の打ち合わせコストも高いため、業者との打ち合わせを中心にWEBでの対応の割合を増やしていこうと考えています。

### 4.当社の戦略を支える体制・組織

当社の戦略は、代表取締役と診療部門責任者と事務部門責任者をメンバーとする部門横断型のデジタル活用戦略チームを組織し、代表が最高情報責任者（CIO）となってスピード感をもって戦略・変革を実行します。お客様の要望や環境変化を的確にとらえ、社内業務の問題点やボトルネックを認識し、解決すべき課題の把握をします。

次に最適な導入候補技術の検討と検証を行い、実装していきます。このように中小企業の機動性の高さを活かしながら代表取締役が中心となってこのPDCAサイクルを高速で回しています。これにより医療部門や事務部門の部門横断型の取り組みや、技術の選定、金額の決済など、すべての意思決定が圧倒的に早くできます。

昨今の日本において少子高齢化、人件費高騰そしてGDPの停滞、ニーズの多様化は多くの企業が直面している課題です。当社は、我々を取り巻く様々な課題を解決するために「スタッフの育成」と「ノウハウの積み上げ」「ノウハウの共有」が必要だと認識しています。

なぜならば、人が育ち、蓄積したノウハウが活用できる体制を構築することで、当院の成長につながると確信しているからです。そして、この会社が成長するプロセスはデジタル技術を活用することで、促進できると考えています。デジタル技術は当院の成長スピードを加速させ、ビジネス変革を支援してくれます。当社は、お客様の期待を超える新しい価値を創造し、地域動物医療のリーディングカンパニーを目指します。

#### 5. デジタル技術活用環境の整備

デジタル技術を活用するためには環境の整備が必要不可欠です。我々は従来の紙ベースでの業務フローの刷新を進めていきます。そしてデジタル技術活用に向けて予算配分を増加していく方針です。

また、デジタル技術の活用において KPI を設定し、浸透度を把握します。取り組みに関する成果等の情報発信は弊社代表取締役が中心となり、WEB サイトを通じた情報発信を検討しています。

当社は、SECURITY ACTION 制度に基づき自己宣言（一つ星）を行っています。我々は今後も適切なサイバーセキュリティ対策を続け、DX 化を推進していきます。

#### 6. デジタル指標

デジタル技術を活用していくにあたり、2022 年度から 2025 年度に向け、取り組みの達成度を測る指標を設定します。

- ・ デジタルでのデータ連携ができる検査機器の導入割合 50%を目指します。
- ・ 電子カルテの実装を 2025 年までには実現します。
- ・ 業者との打合せを WEB 会議比率 30%を目指します。
- ・ スタッフのタブレット端末の保有率 50%を維持します。
- ・ ペーパーレス化による印刷枚数 50%削減を目指します。